

11 外国語

I 本県が目指す外国語科の授業

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する外国語科の学習

II 教材研究の充実

外国語科における教材研究のポイントとその具体

中1「自分の新たな一面を伝えたり、友の新たな一面を探ったりしよう」の例

学習指導要領に示された目標及び内容を確認する

子供の視点から

素地となる資質・能力を把握する

- ・教師は、前單元までのやり取りの様子やパフォーマンステスト、アンケート等から、話すこと〔やり取り〕において児童生徒が身に付けている資質・能力を把握する。

本單元での具体

- ・小学校での学習を通して、自分や相手のことについて、簡単な語句や基本的な表現で、その場で質問をしたり質問に答えたりできるようになってきている。そこで、中1の「CAN-DOリスト」の目標を「関心のある事柄について即興で情報を交換したり、互いの考えや気持ちを伝え合ったりすることができる」と設定する。本單元では、入学から半年を経て「互いのことをもっと深く知りたい」という生徒の願いを基に、単に質問に答えるだけでなく、「〇〇さんの意外な一面を知るためには何を尋ねればよいか」という目的を意識しながら、相手の反応に応じて表現を工夫し、やり取りを継続・発展させていく姿を大切にしたい。

教材の視点から

教師による学びのデザイン

- ・児童生徒の「〇〇さんに伝えたい、□□を知りたい」という願いを自己課題として捉えられるような、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況など」を考える。
- ・育成を目指す資質・能力を踏まえ、題材や本文の特徴を捉えた教科書の活用を検討する。

本單元での具体

- ・中学校に入学して半年が過ぎたが、互いにまだよく知らないことがある実態から、生徒は友達の新たな一面を探る活動に、意欲的に取り組むことができると考えられる。様々な表現を用い、相手の発話に関連した質問や意見を述べるなど、やり取りを継続・発展させていくことで、互いの新たな一面について知る姿を目指したい。
- ・教科書では、登場人物が相手の発話に関連させて質問したり、複数の英文で応答したりして会話を継続させる場面が扱われている。生徒は実際のやり取りにおいて、教科書の表現や工夫を、目的を達成するために参考にし、自分なりの伝え方を模索していく。

学習の過程の視点から

思考力、判断力、表現力等を育成する

以下のような流れの中で、学んだことの意味付けを行ったり、既得の知識や経験と、新たに得られた知識を言語活動で活用したりすることで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていく。(右ページの「授業改善の視点 取組の具体例」と対応)

①設定されたコミュニケーションの目的や場面、状況などを理解する。

②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる。

③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う。

④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う。

本單元での具体

Unit Goal「互いの新たな一面を知るために、好きなことや得意なことなどについて、即興で伝え合おう」を理解する。

Unit Goalを達成するためにはどのような学習活動が必要かを共有する。「教科書の登場人物や友のやり取りから、会話を継続・発展させる表現等を参考にする」「参考になった点を踏まえて様々なペアでやり取りを繰り返す」「自分の考えや気持ちを話す」など

・目的や場面、状況などに応じて、まずはやり取りを行う。(1回目)
・教師は、やり取りのよい例(内容面と言語面)等を全体で共有する。
・再度やり取りを行う。(2回目)

Unit Goalを達成するために使用した表現(言語面)や内容を工夫したこと(内容面)をワークシートに記述する。

Ⅲ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善例

【単元名】 自分の新たな一面を伝えたり、友の新たな一面を探ったりしよう

【単元の目標】 互いの新たな一面を知るために、好きなことや得意なことなどについて
事実や考え、気持ちなどを即興で伝え合うことができる。(話すこと[やり取り]ア)

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 疑問詞(What)で始まる疑問文の構造を理解している。 <技能> 疑問詞(What)で始まる疑問文などを用いて好きなことなどを即興で伝え合う技能を身に付けている。	互いの新たな一面を知るために、好きなことや得意なことなどについて事実や考え、気持ちなどを即興で伝え合っている。	互いの新たな一面を知るために、好きなことや得意なことなどについて事実や考え、気持ちなどを即興で伝え合おうとしている。

【主な学習活動と評価計画】 (☆…「評定に用いる評価」、♡…「学習改善につなげる評価」)

時	○主な学習活動 (☺☺ 生徒の意識 (☒ 端末とクラウドの活用例))	評価の観点			評価方法	授業改善の視点 取組の具体例
		知	思	態		
1	<p>【ねらい】好きなことや得意なことなどについてやり取りを継続させることで、友や教師、ALTのことを互いに知るという単元の見通しをもつ。</p> <p>○教師とALTのやり取りを聞く。 ☺ △さんのことを知っていたつもりだけど、別の一面があるかも。 ☺ ○さんのことをもっと知るには、どうしたらいいのかな？</p> <p>Unit Goal：互いの新たな一面を知るために、好きなことや得意なことなどについて、即興で伝え合おう。</p> <p>○やり取りをする際にどのような点に工夫しているかに着目し、教師とALTのやり取りを再度聞く。 ☺ 相手の話に関わる質問をしたり、答える時に1文を付けたりしてやり取りしていたな。</p> <p>○単元の見通しを確認する。 ☺ 教科書を参考に、会話を継続・発展させる表現等を参考にしよう。</p>	♡	♡	♡	①設定されたコミュニケーションを行う目的や場面、状況等を理解する。 探究の出発点 教師がALTの新たな一面を知り、共通点があっという嬉しい気持ちを伝え、友のことをどの程度知っているか尋ねます。	
	<p>②目的に応じて情報や意見などを発信するまでの方向性を決定し、コミュニケーションの見通しを立てる。思考力・判断力の発揮 互いの新たな一面を知るためには、関連した質問や1文を付け足して、意見を交換しながらやり取りを継続・発展させていくことを確認します。そのために、教師は生徒に「単元を通してどのような学習活動を行ったらいいか」を尋ね、今後の見通しを全体で確認・共有します。</p>					
2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	<p>【ねらい】互いの考えや気持ちを伝え合う際に、教科書の登場人物や友のやり取りから、言語面と内容面で生かすことができそうなことを共有し、友と好きなことなどを伝え合う。</p> <p>○教科書を聞いたり読んだりする。 ○やり取りを繰り返す。 ☺ 第6時のやり取り(例) ☺ A: You practice baseball every day, right? What do you do in your free time? B: I read comic books. A: Oh, really? That's nice. I like comic books, too! B: Great. What do you read? A: I read ◇◇. Do you like it? B: That's my favorite! Do you read other comics, too?</p>	第2～5時	♡	♡	♡	③目的達成のため、具体的なコミュニケーションを行う。 言語活動の積み重ね ・やり取りを行う場を設けます。(1回目) ・ALTと協力して、友の新たな情報を得ているペアのやり取りを紹介し、Unit Goalに立ち返りながら言語面、内容面のよさ(波線部)を共有します。 ☒ デジタル教科書で登場人物のやり取りを聞いたり読んだりし、その工夫や表現の仕方を確認します。 ・共有したことを踏まえ、別の相手とやり取りを行う場を設けます。(2回目) ☆授業中のやり取りと録画から評価する。
	<p>○第6時までの振り返りを生かし、再度やり取りを行う。 ○単元の振り返りを記入する。 ☺ What～?を使って関連した質問をしたり、1文を付け加えたりすることでやり取りが続けられて、友達の新たな一面を知ることができた。</p>	第6時	☆			
	<p>④言語面・内容面で自ら学習のまとめと振り返りを行う。探究の深化と次の学びへの接続 ☒ 第1時にクラウドに保存しておいた友達とのやり取り(録画)を見返し、Unit Goalを達成するために使用した表現(言語面)や内容を工夫したこと(内容面)をワークシートにまとめる場を設けます。</p>			☆	☆	